

当に高齢者の高血圧対策
になってくるのかは疑問
「感受性」と「食塩非感受」でも高血圧症の改善が期
減
▲食事の自由度をあげること
重要である
とです。

生前・遺品整理で成長

高齢者施設の依頼増

遺品整理や生前整理などの片付け専門業をてがけるスリーマインド（兵庫県伊丹市）。年間受注件数は600件で、うち70件は高齢者施設関係となっている。「信頼できる業者の見極めが重要」と語る屋宜明彦社長に、高齢者施設からの依頼の実情などを聞いた。

施設見学会で併設セミナーも



スリーマインド
屋宜明彦社長

「取引のある高齢者施設は、どのように開拓したのか。屋宜 コンスタントに依頼があるのは9施設。」

片付け専門業者に

7年間勤務後、2016年に独立した際は、顧客は引き継いでおらず、施設への飛び込み営業などで新規開拓してきた。また、施設入居者の身元引き受けなどをやっている土業からの紹介で依頼を受けるようになったケースもある。

高齢者施設から評

「価されている点は、屋宜 施設が行う生前整理セミナーの講師を引き受けていること。これまで入居者のための勉強会、施設見学会との併設セミナーを行ってきたが、最近併設型セミナーが好評で施設からの引き合いも多い。自宅の生前整理に嫌気が差して、入居

に嫌気が差して、入居



▲施設での片付けの様子



▲現場経験に裏付けられたセミナーは好評

をキャンセルする人もいうという。見学者向けの生前整理セミナーで、しっかりと整理のポイントを話せる講師が求められている。

一般的な生前整理セミナーの講師は、現場

に携わっていない人も多い。私は7年間片付け業に勤めていた経験から現場の事例なども交えて、施設入居前にどのような生前整理を行えばよいかを分かりやすく説明している。

現場

「施設から信頼を得るコツは。屋宜 人手不足の高齢者施設も多いので、イベントなどで手伝いをするとう喜ばれる。イベントの企画への助言なども行う。例えば、施設主催の終活イベントで「開催を継続するためには参加する業者側にもメリットが必要。ポイントラリー式にして来場者に会場全体を回ってもらう導線を工夫してはどうか」といった提案もした。

案件について、今後の

展開は。屋宜 やみくもに取引先を増やすというよりも、協働で入居者をサポートすることを心掛けて、事業者との縁を広げていきたい。生前整理・遺品整理業者が乱立する中、「信用できる業者なのか判断できない」という声をよく聞く。高齢者施設もそうだが、業者が居室に入り作業を行う場合が多いので、安心・信頼感が重要だ。信頼される業者であり続けられるように誠意努力し続けたい。

続けたい。

多岐にわたる。UDFのなかでもことに起因しているという。